

◆ 平成 21 年度（後期）県立広島大学 学部・学科・研究科（専攻）等による FD 活動（教育改善）計画一覧

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部	学部長：秋山伸隆， 学部 FD 委員：樹下文隆，李建志，藤井浩樹，増山悦子，菅原芳明	3 月 1 日～3 月 31 日	特に定めない	<p>1) 実施目的 学科における「教育改善」を目的として、平成 21 年度中に行なった全 4 回の学科 FD 活動を総括する目的で実施（平成 21 年度「第 5 回学科 FD 研修」）。学科全教員が参加。</p> <p>2) 実施内容</p> <p>① 平成 21 年度第 1 回学科 FD 研修会：実施日時を 4/1～4/30 日として実施したもの。平成 20 年度後期「学生による授業評価」に対する各科目教員コメントを基礎資料とし、教員個々の感想・見解・意見を集約し、それらを再度学科教員全員で共有化するとのでやり方で実施した学科 FD。なお、新任者・初任者研修を兼ねて実施。</p> <p>② 第 2 回学科 FD 研修会：実施日時を 5/14 日、14：40～16：00 としてオリゼミ時に実施したもの。全教員・全学生参加型の「オリゼミ健康科学シンポジウム」を開催、その成果を学科の教育改善活動に結びつける一つの試みとして実施したもの。</p> <p>③ 第 3 回学科 FD 研修会：実施日時を 10/13 日として実施したもの。平成 21 年度栄養教諭実習・実習生 13 名による公開模擬授業に「生徒」の立場で参加。生徒目線で「授業評価」を行なうことにより、その成果を学科の教育改善活動に結びつける一つの試みとして実施したもの。</p> <p>④ 第 4 回学科 FD 研修会：実施日時を 11/16～11/30 日として実施したもの。平成 21 年度前期「学生による授業評価」に対する各科目教員コメントを基礎資料とし、教員個々の感想・見解・意見を集約し、それらを再度学科教員全員で共有化するとのでやり方で実施した学科 FD。</p> <p>上記 4 回の FD を総括する目的で実施する FD。</p>
人間文化学部	学部長：秋山伸隆， 学部 FD 委員：樹下文隆，李建志，藤井浩樹，増山悦子，菅原芳明	3 月 16 日（火） 11 時～12 時	2215 セミナー 室（2 棟 2F）	<p>1) 実施目的 学部における「教育の質保証」検討の一環として FD 講演会を企画。学部 FD 委員（樹下・李・藤井・増山・菅原）の「勉強会」として企画したもの。ただし、講演内容の今日性に鑑み、学部教員全員にアナウンスすると共に、平成 21 年度「第 1 回人間文化学部 FD 研修会」として開催。</p> <p>2) 実施内容</p> <p>① 「教育の質保証」は、極めて今日的な課題であり、当学部の今後に向けた重要課題の一つでもある。</p> <p>② 学部 FD 委員相互の勉強会も兼ねつつ、平成 21 年度「第 1 回人間文化学部 FD 研修会」として開催。</p> <p>講演の内容（演題）：「教育の質保証－高等学校段階までの世界の動向－」 演者：人間文化学部 藤井 浩樹 先生</p>
人間文化学部 国際文化学科	基礎ゼミ I 担当者：柳川順子他	平成 22 年 3 月 2 日 （火）13 時～14 時	1212 会議室	<p>1) 実施目的 新たな枠組みに変えた今年度のフレッシュマンセミナー（基礎ゼミ I，II）を振り返り、1 年生の学習態度・意欲の現状を把握するとともに、導入教育の改善に向けた意見交換の場を設ける。基礎ゼミは学科教員全員が 2 年間で 1 回は担当することになっているので、学科教員全員を対象として実施する。</p> <p>2) 実施内容</p> <p>① 基礎ゼミ I 担当者の総括</p> <p>② 基礎ゼミ II 担当者の総括</p> <p>③ 導入教育で初年度生に批判力、問題発見能力を身に付けさせるにはどうしたらよいか。</p>

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
人間文化学部 健康科学科	学科長：江島洋介, 学科 FD 委員：増山悦子, 菅原芳明	平成 21 年 11 月 16 日～11 月 30 日	特に定めない	<p>1) 実施目的および参加者 学科における「教育改善」を目的として、2009 年度前期「学生による授業評価」に対する担当教員コメントの集計結果について、学科教員全員で共有化すると共に、平成 21 年度「第 4 回学科 FD 研修会」とする。学科全教員が参加して行なうものである。</p> <p>2) 実施内容</p> <p>① 平成 17～20 年度 4 カ年に渡り、「学生による授業評価」に対する各科目教員コメントを基礎資料とする学科 FD の実施に工夫を凝らしてきた。これらの成果をバックグラウンドに、平成 21 年度新カリキュラムに移行。移行スキームは、「学生による授業評価」→「授業評価に対する教員コメントの学科内共有化」→「学科 FD」→「4 カ年毎のカリキュラム編成・改変」というものであった。</p> <p>② 新カリキュラム移行に伴い、学科教員個々の授業改善に向けた努力を再度点検すると共に、次の「新たな 4 カ年のカリキュラム編成・改変」に向けた学科全体・総体としてのカリキュラムの点検を行なうものである。</p> <p>③ つまり、次の 4 カ年の「学科カリキュラム改変」を目指した有機的 FD の実施。</p> <p>④ 2009 年度前期「学生による授業評価」に対する各科目教員コメントを基礎資料とし、教員個々の感想・見解・意見を集約し、それらを再度学科教員全員で共有化する。</p>
経営情報学部	学科長：山本努	学生の勉学状況などに応じて随時	研究室，教室，会議室など，種々の場所が活動の場所になる。学外もありうる	<p>1) 実施目的および参加者 広島県立大学経営学部過年度学生への対策が目的。この目的のためには、経営情報学部教員・教学課担当者との情報交換，協力関係の構築が重要になる。したがって、これらの者が参加することになる。</p> <p>2) 実施内容 広島県立大学過年度学生の対策は、経営情報学部の重要課題のひとつである。指導教員，教学課の協力指導体制によって、広島県立大学過年度学生の少しでも早い（できれば今年度の）卒業を目指して、種々の指導，活動をおこなう。学生の状況により、学部教員，および、卒論指導の教員，副指導の教員，教務担当の教員，および、教学課の担当者での，状況確認，対策協議の会合を持つ予定。</p>
保健福祉学部 看護学科	学科 FD 委員： 松森直美	<p>① 平成 21 年 10 月 1 日（木）13：30～17：00 看護倫理研修会</p> <p>② 平成 21 年 10 月～平成 22 年 3 月 毎月 1 回 検討会開催（各 90 分）</p> <p>③ 平成 21 年 11 月～平成 22 年 2 月 看護倫理について学生の意識調査実施</p>	<p>① 2313 教室</p> <p>② 3416 教室</p> <p>③ 各学年が講義等を行っている教室で調査用紙配布・回収</p>	<p>1) 実施目的 今年度より改正カリキュラムによる教育課程が開始されたことに伴い、昨年度に引き続き学生の看護実践能力を強化するための教育課程の見直しと再構築を行う。これと同時に教員の指導力の向上が求められていることから、各看護領域における専門科目の教授内容の中でも特に看護倫理の検討を行なっていく。</p> <p>2) 実施内容</p> <p>① 学生の看護倫理に関する意識調査について昨年度の結果のまとめと学内外での報告，調査を継続実施。</p> <p>② 看護倫理研修会開催。</p> <p>③ 学生に対する看護倫理の意識調査。</p>

実施主体	コーディネーター	日時	実施場所	実施内容
保健福祉学部 理学療法学科	学科長：大塚彰	基本的に毎週水曜日の9時～10時30分の中で実施。 ただし、①は臨床実習指導者会議のあと90分程度で実施。また、④については第2水曜日に実施。	2416 会議室。ただし①については、2313 講義室を予定。	1) 実施目的 学外における臨床実習中の学生の学習支援と、学内での学習の進行に問題を抱える学生の支援を効果的に行うため。 2) 実施内容 ① 臨床実習に関するワークショップ ② 臨床実習の検討 – 臨床実習における学生の問題の把握と対応 – ③ 学科勉強会開催 ④ 学科会議内学生支援に関する検討会
保健福祉学部 作業療法学科	学科 FD 委員： 田端幸枝	・ 情報の共有化や学生指導の検討は月2回の学科会議において実施。 ・ 専門知識及び技術の向上を図るための伝達講習会等は学科会議において随時実施。	2416 会議室	1) 実施目的 作業療法学科教員の FD 活動に対する理解と、重要性の認識をより深める。そして、本活動により教員間の情報の共有化を推進、教育の質の組織的向上を図る。 2) 実施内容 ① 情報の共有（学生に関する情報、作業療法教育に関する情報、等） ② 教育の組織的向上（学科としての FD 活動、等） ③ 丁寧な学生指導 1：初年次教育（学生の生徒化への対策、等） ④ 丁寧な学生指導 2：国家試験対策（不合格者への指導、受験者への指導、等） 教育の質の向上を図るための学科 FD の講演会を開催する。平成 22 年 3 月 24 日（水）12：30～13：30 に林優子教授の講演を予定。
保健福祉学部 コミュニケーション 障害学科	学科 FD 委員： 本多留美	① 随時（月 1 回程度）実施予定。 ② 講習後、学科教員の予定とあわせて設定。 ③ 期間を通じて実施。 ④ 模擬患者による演習の実施は 1/29 を予定	1309 演習室 4511 大学院セミナー室、 4102 地域連携センターなど	1) 実施目的 コミュニケーション障害学科教員間での情報の共有化を進め、学生支援の一層の充実をはかる。また、現代 GP「ヘルスサポーターマインドの発達支援」活動を活用し、専門職育成のためのより効果的な方法を検討する。 2) 実施内容 ① 学生指導および支援に関する情報を学科教員間で共有するための「学生支援会議」の開催、また、学科会議を利用しての情報交換を進める。 ② S T 養成校研修会への教員の参加と伝達講習会を行う。 ③ 現代 GP 活動に積極的に参加し（コミュニケーションふりかえりシートを活用した指導、地域の活動団体の活動への参加の促し）、その効果を検討する。 ④ 上記の現代 GP 活動とも重なるが、今後の臨床教育のあり方についての検討を行う。特に、2 年次学生を対象とした臨床実習 I では、初めての試みとして、模擬患者（SP）にご協力いただきコミュニケーション演習をおこない、検討する。
保健福祉学部 人間福祉学科	学科 FD 委員： 三原博光	① 平成 21 年 10 月 22 日（木） ② 平成 21 年 11 月 27 日（金） ③ 平成 22 年 3 月	三原キャンパス	1) 実施目的 ① 学生及び教職員の国際交流能力を養う。 ② 現代 GP による外部講師の講義を通して社会福祉の知識を深める。 ③ 地域の精神障害者に対する社会福祉実践活動を通して、教員・学生が福祉実践能力を養う。 2) 実施内容 ① ドイツ人講師メアテス博士によるドイツの社会福祉講義への参加及び食事交流会 ② 秋山仁講師（喜望の家）による「釜が崎のホームレス支援について」の講演会 ③ 三原市こころネット祭りへの参加：精神障害者とその家族、施設スタッフによる模擬店、講演会にボランティアとして参加予定